



平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月13日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL http://suminoe.jp/
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室部長 (氏名) 永田 鉄平 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日~平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	23,143	3.4	345	—	413	—	△1	—
29年5月期第1四半期	22,392	△0.4	△241	—	△240	—	△225	—

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 542百万円(—%) 29年5月期第1四半期 △1,041百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	△0.02	—
29年5月期第1四半期	△2.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	88,612	37,595	37.7
29年5月期	90,254	37,398	36.9

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 33,370百万円 29年5月期 33,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	3.50	—	3.50	7.00
30年5月期	—	—	—	—	—
30年5月期(予想)	—	3.50	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年5月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年5月期(予想)の期末配当金は3円50銭となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日~平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,300	2.0	1,380	—	1,490	660.1	780	—	10.34
通期	97,500	1.5	2,800	115.8	2,950	116.2	1,500	—	198.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年5月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の通期1株当たり当期純利益は19円88銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年5月期1Q	76,821,626株	29年5月期	76,821,626株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	1,386,149株	29年5月期	1,384,616株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年5月期1Q	75,436,255株	29年5月期1Q	75,443,405株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

(株式併合後の配当および業績予想について)

当社は、平成29年8月30日開催の第128回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年12月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて同日付で単元株式数の変更 (1,000株から100株への変更) を実施することとしております。

なお、当該株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年5月期の配当および連結業績予想は以下のとおりであります。

1. 平成30年5月期の配当予想
 - 1株当たり配当金
 - 期末 3円50銭
 - 年間 7円
2. 平成30年5月期の連結業績予想
 - 1株当たり当期純利益
 - 通期 19円88銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）経営成績に関する説明	P. 2
（2）財政状態に関する説明	P. 3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
（1）四半期連結貸借対照表	P. 4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
（継続企業の前提に関する注記）	P. 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 8
（セグメント情報）	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境が堅調に推移するなか、緩やかに改善し、海外においても米国や欧州の景気が回復基調となったものの、米国の政策運営や北朝鮮問題をはじめとする地政学的リスク等から、先行きの不透明感が強まりました。

このようななか、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」の初年度である当期の第1四半期における連結業績は、売上高231億43百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益3億45百万円（前年同期は営業損失2億41百万円）、経常利益4億13百万円（前年同期は経常損失2億40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億25百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

業務用カーペットでは、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の海外輸出がわずかに伸び悩みました。また、国内市場におけるオフィスビルや商業施設、ホテル向けのリニューアル案件の受注に注力したものの、大型案件が少なく、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、「mode S®（モードエス） Vol.8」が好調に推移したものの、医療・福祉・教育施設向けカーテン「Face」等が伸び悩み、売上は前年同期を下回りました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットでは、消費者の節約志向が依然として強く、売上は前年同期を下回りました。壁紙では、「ルノンフレッシュプレミアム」、量産タイプの「ルノン・マークⅡ」がともに順調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高80億72百万円（前年同期比0.9%減）、営業損失1億56百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連全体では、前年同期比増収となりました。国内は、自動車販売が市場全体として堅調に推移しており、既存車種の販売拡大に加えて新規車種の受注が大きく寄与しました。海外は、米国の自動車販売にわずかな減少がみられるものの、中国では日系自動車の販売が好調に推移しており、またタイでは新規車種の受注が寄与し、増収に貢献しました。

車両関連では、鉄道向けは、前期から引き続き新車案件やリニューアル改造工事が順調に推移したものの、前期に売上貢献した公営地下鉄の案件がなくなったことや、バス向けも、一部の新車製造の減産が影響し、車両関連全体では、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高143億32百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益7億99百万円（同3.3%減）となりました。

(機能資材事業)

ホットカーペット、空気清浄機および暖房機向け消臭フィルター、航空機向けカーペットは好調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。浴室向け床材も堅調に推移し、売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

以上の結果、機能資材事業では、概ね堅調となったものの、2016年12月末に中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社を連結の範囲から除外したため、売上高6億98百万円（前年同期比13.6%減）、営業利益21百万円（前年同期は営業損失44百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ16億41百万円減少し、886億12百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ18億38百万円減少し、510億16百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億97百万円増加し、375億95百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成29年7月14日に発表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,050	5,864
受取手形及び売掛金	17,866	17,831
電子記録債権	4,719	4,562
商品及び製品	10,449	11,416
仕掛品	1,925	1,571
原材料及び貯蔵品	4,170	3,947
未収還付法人税等	379	367
その他	4,397	3,674
貸倒引当金	△23	△25
流動資産合計	50,934	49,209
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,604	17,605
その他(純額)	10,238	10,058
有形固定資産合計	27,842	27,663
無形固定資産	1,047	1,016
投資その他の資産		
投資有価証券	9,037	9,419
その他	1,535	1,447
貸倒引当金	△143	△143
投資その他の資産合計	10,429	10,722
固定資産合計	39,319	39,402
資産合計	90,254	88,612

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,381	14,270
電子記録債務	3,854	3,815
短期借入金	12,411	12,711
未払法人税等	462	380
その他	4,109	3,435
流動負債合計	36,218	34,613
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	6,035	5,735
役員退職慰労引当金	334	346
退職給付に係る負債	4,048	4,084
その他	5,718	5,736
固定負債合計	16,636	16,403
負債合計	52,855	51,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,266	10,001
自己株式	△362	△362
株主資本合計	22,111	21,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,035	3,361
繰延ヘッジ損益	△9	△17
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	549	573
退職給付に係る調整累計額	△198	△190
その他の包括利益累計額合計	11,174	11,525
非支配株主持分	4,113	4,225
純資産合計	37,398	37,595
負債純資産合計	90,254	88,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	22,392	23,143
売上原価	17,888	18,524
売上総利益	4,503	4,618
販売費及び一般管理費	4,745	4,273
営業利益又は営業損失(△)	△241	345
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	66	40
持分法による投資利益	32	3
不動産賃貸料	26	58
保険配当金	34	35
その他	30	31
営業外収益合計	194	172
営業外費用		
支払利息	60	62
為替差損	101	10
不動産賃貸費用	9	9
その他	20	21
営業外費用合計	192	104
経常利益又は経常損失(△)	△240	413
特別利益		
固定資産売却益	51	1
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	51	6
特別損失		
固定資産除売却損	32	1
特別損失合計	32	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△221	418
法人税、住民税及び事業税	96	248
法人税等調整額	△189	△5
法人税等合計	△92	243
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△128	174
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	176
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△225	△1

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△128	174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△378	326
繰延ヘッジ損益	3	△1
為替換算調整勘定	△573	41
退職給付に係る調整額	8	8
持分法適用会社に対する持分相当額	27	△5
その他の包括利益合計	△912	368
四半期包括利益	△1,041	542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,031	349
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,148	13,393	808	22,351	41	22,392	—	22,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136	5	1	143	60	204	△204	—
計	8,285	13,399	810	22,494	101	22,596	△204	22,392
セグメント利益 又は損失(△)	△59	826	△44	722	23	745	△987	△241

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△987百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△995百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,072	14,332	698	23,103	40	23,143	—	23,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153	2	1	156	55	212	△212	—
計	8,225	14,334	699	23,260	96	23,356	△212	23,143
セグメント利益 又は損失(△)	△156	799	21	665	20	685	△339	345

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△339百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△346百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。